

一口

勅授

1087

丙  
一三九七三四

立案 昭和 年 月 日  
決裁 昭和 年 月 日

爵位課長

宗秩寮總裁

宮内事務官

元内務技師兵藤直吉外十三名  
特旨敍位ノ件

昭和九年七月三日裁可七月六日達  
臺帳記入七月十九日官報報告済

裏面白紙

97



元内務技師兵藤直吉外十三名  
特旨叙位ノ件  
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十九年七月三日

内閣總理大臣東條英機



内

閣

裏面白紙

内内第八五號

案起

昭和十九年七月一日

裁可

昭和十九年七月三日

施行

昭和 年 月 日

内閣總理大臣

内閣書記官長

之 内閣書記官

元内務技師兵藤直吉外十三名  
特旨叙位件

例

辭令案  
文

内閣

内務省 第六八〇五號

敍從四位 昭和十九年六月二十一日大正十年十二月十九日任内 元内務技師正五位兵 藤 直 吉

右文武官敍位進階内則第四條ニ依リ謹テ 奏ス

昭和十九年六月二十三日

内務大臣 安 藤 紀 三 郎



内 務 省

内閣大臣 奏 五十六

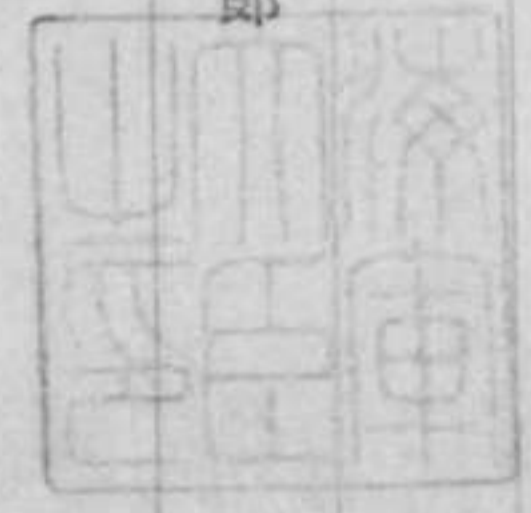
海軍技術少將正五位 渡邊 武

右文武官叙位進階内則第四條ニ依リ

謹テ 奏ス

昭和十九年六月二十七日

海軍大臣 鳴田 繁太郎



海 軍

内閣人海位第五七三號

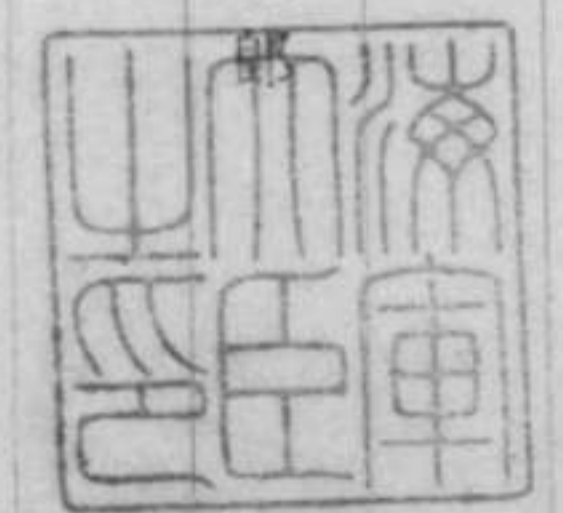
敍從四位 昭和九年六月十日 大正四年三月廿五日 澤嘉藏

右文武官 敍位進階 內則 第四條ニ依リ

謹テ 奏ス

昭和十九年六月三十日

海軍大臣 嶋田 繁太郎



海軍

文 部 省

内閣人支第 六六二

叙從四位

依 願 免 官 昭和十九年六月十七日  
至十五年十一月六日任  
佐賀高等學校教授  
以來在職滿十年以上

元山口高等學校教授

正五位 小林

弘

二

右文武官叙位進階四則第四條ニ依リ請テ奏ス

昭和十九年 六月 廿二日

文部大臣 子爵 岡部長



裏面白紙

叙從四位

昭和十九年六月廿六日  
大正十四年十月十四日  
元米澤工業専門学校教授正五位 黒澤 清

右文武官叙位進階規則第 四 條ニ依リ議テ奏ス

昭和十九年 六月 廿六日

文部大臣 子爵 岡部長 豊



文 部 省



内閣府 農林省 第一一〇號

叙從四位	昭十九年六月九日 依願免本官	任官以來在職滿十年以上	元農商技師正五位布谷芳太郎
叙從四位	昭十九年六月二十日 依願免本官	任官以來在職滿十年以上	元生絲検査所技師正五位下田 穰
叙從四位	同	任官以來在職滿十年以上	元生絲検査所技師正五位松本 茂

右文武官叙位進階内則第四條ニ依リ譚テ奏ス

昭和十九年六月二十四日

農商大臣 内田 信



農 林 省

内閣人需位第一二七號

依正四位

昭和十九年六月十日  
依願免本官

大正十四年四月一日  
任特許局事務官  
高等官在職滿五年以上

元軍需省燃料局長從四位  
菱沼 勇

勇

右文武官叙位進階第四條依願謹テ奏ス

昭和十九年六月三十日

軍需大臣 東條英機



軍需省



内閣人選第四一四號

特旨

敘從四位

昭和十九年六月二十九日  
任職道技術師以來  
在職滿十年以上

元鐵道監正五位・清田 貞治

右文武官敘位進階内則第四條ニ依リ

謹テ奏ス

昭和十九年六月三十日

運輸通信大臣 五 島 慶 太



運輸通信省

Large empty rectangular frame with vertical lines, likely a placeholder for a signature or additional text.

七九四

敍正四位 昭和十九年六月七日 大正八年七月二十九日 元臺灣總督府法務檢察官從四位 眞田 俊雄

右文官 敍位進階 內則 第四條ニ依リ

謹テ奏ス

昭和十九年 六月 二十一日

臺灣總督 長谷川



臺灣總督府

上奏費用紙

(日本標準規格 B. 4)

内閣人内務第七九三號

元臺灣總督府法院檢察官從四位 林 藤香  
大正十年十一月五日  
任職十年以上

右文武官敘位進階内則第四條ニ依リ

謹テ奏ス

昭和十九年六月二十一日

臺灣總督 長 谷 川



臺灣總督府

上奏書用紙

(日本標準規格 B. 4)

履 歷 書

海軍主計大佐 正五位

小 澤 嘉 藏

第 號

現住所

明治三十五年二月二十一日生

年 月 日	任 免	賞 罰	資 格	在 職 年 數	通 算
大正四年十月十日	海軍少主計		奏任		
同五年一月十日	正 八 位				
同六年十月一日	海軍中主計		同		
同七年一月十日	從 七 位				
同八年九月六日	勅令四二七号ニ依リ海軍中主計トナル				
同九年十月十日	海軍主計大尉		同		
同十年一月二十日	正 七 位				
同十五年三月一日	從 六 位				
昭和三十二年十月一日	海軍主計少佐		同		
同六年四月一日	正 六 位				
同七年十月一日	海軍主計中佐		同		
同十年五月一日	從 五 位				
同十一年十月一日	海軍主計大佐		同		
同十六年六月二日	正 五 位				
同十七年十月十日	豫 備 役				
同日	就職(充員召集)		同		
同日	海軍艦政本部造船造兵監督官				
同十九年六月十日	充員召集解除		三等		

海 軍

三十八年六月八日  
三十九年六月八日

計  
三十九年六月八日

特旨敍位  
七月二十一日期限

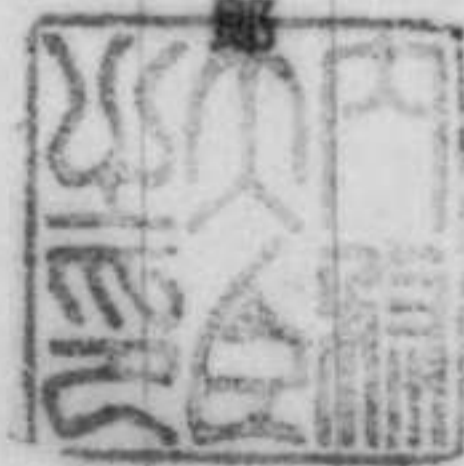
内務大臣官房  
甲第 三二二二 號

別紙 兵 藤 直 吉 特旨敍位ノ件

上奏書進達ス

昭和十九年 六月二十三日

内務大臣 安藤 紀三郎



内閣總理大臣 東條 英機 殿

内務省

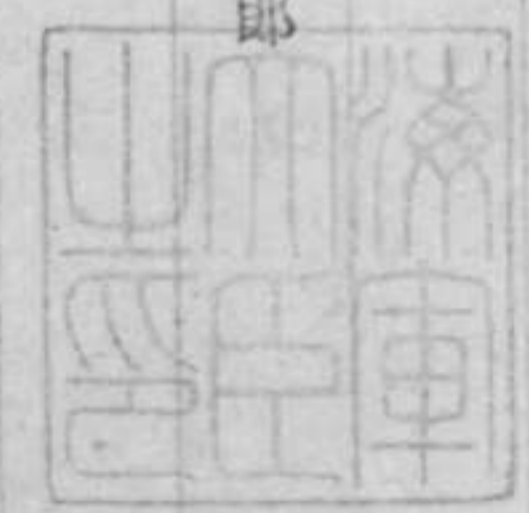




海秘入第一二四號

昭和十九年六月二十七日

海軍大臣 嶋田 繁太郎



内閣總理大臣 東條 英機 殿

官報  
不登載

海軍技術少將渡邊 武ハ多年軍職ニ在リテ克ク其ノ任務ヲ  
盡シ功績顯著ノ者ニ候處六月二十六日豫備役被仰付候ニ付  
テハ特ニ位一級被進度別紙上奏書進達ス

海軍

(終)

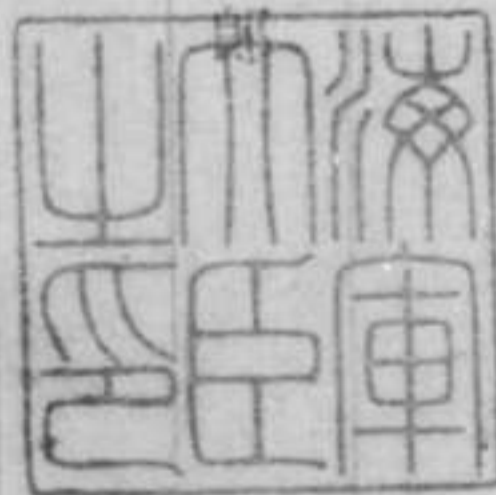


官  
不  
登  
載  
報

海軍人第一二四五號

昭和十九年六月三十日

海軍大臣 嶋田 繁太郎



内閣總理大臣 東條 英機 殿

海軍主計大佐小澤嘉蔵ハ多年軍職ニ在リテ克ク其ノ任務  
ヲ盡シ功績顯著ノ者ニ候處六月二十日充員召集解除致候  
ニ付テハ特ニ位一級被進度別紙上奏書進達ス

海 軍

(終)

謀判房密納  
19.6.30  
付受

文 部 省

小林弘特旨被位ノ件

右 上 奏 書 及 進 達 候 也

昭和十九年 六月 廿日

文 部 大 臣 子 爵 岡 部 長 景



内閣總理大臣 東條英機殿

19.6.21  
付交

115

裏面白紙

文 部 省

黒澤清特旨敍位ノ件

右 上 奏 書 及 進 達 候 也

昭 和 十 九 年 六 月 癸 日

文 部 大 臣 子 爵 岡 部 長 景



内閣總理大臣 東條英機殿



裏 面 白 紙



農秘甲第六九七號

元農商技師布谷芳太郎外二名特旨敍位ノ件別紙上奏書進達ス

昭和十九年六月二十四日

農商大臣 内田 信也



内閣總理大臣 東條 英機 殿

農  
林  
省



東東 591

117

軍需省第四六七號

軍需省燃料局長 菱沼 勇持 旨叙位件別紙

上奏書進達ス

昭和十九年六月三十日

軍需大臣 東條英機



内閣總理大臣 東條英機 殿

軍需省

課制所官内  
19.6.30  
付受

裏面白紙

119  
19.6.29

秘恩第一〇二〇號

元鐵道監從四位齋藤義八外一名特旨敘位ノ件

別紙上奏書及進達候也

昭和十九年六月廿九日

運輸通信大臣 五島 慶太



内閣總理大臣 東 條 英 機 殿

鐵道省

裏面白紙

秘恩第一〇二三號

元鐵道監正五位清田貞治特旨叙位ノ件  
別紙上奏書及進達候也

昭和十九年六月三十日

運輸通信大臣 五島 慶太

内閣總理大臣 東條 英機 殿



運輸通信省

120  
19.6.30  
付受



七月六日 勅位

内務大臣官房 甲第三〇四八號

別紙 眞田俊雄 特旨 敍位ノ件

上奏書進達ス

昭和十九年六月二十一日

内務大臣 安藤紀三郎



内閣總理大臣 東條英機 殿

内務省



121

五月  
七月七日  
林 藤 香 特 旨 敍 位

内務大臣官房 甲第三〇四四號

別紙 林 藤 香 特 旨 敍 位 ノ 件

上奏書進達ス

昭和十九年六月二十一日

内務大臣 安藤 紀三郎



内閣總理大臣 東條 英機 殿

内務省



裏面白紙

丙發第109號

一元臺灣總督府法院檢察官從四位上眞田俊雄外二名  
右本日特旨ヲ以テ敍位相成候條此旨及傳達候位記竝  
辭令ハ追テ可及回送候也

昭和十九年七月十六日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

内務大臣安藤紀三郎殿

発令上奏番号

内務大臣 臣官房 甲字三一三号、日三〇四八号、日三〇四四号、以共

官内省

裏面白紙

丙 發 第 一 〇 號

一海軍技術少將正五位 渡邊 武外一名  
右本日特旨ヲ以テ敍位相成候條此旨及傳達候位記竝  
辭令ハ追テ可及回送候也

昭和十九年七月六日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

海軍大臣 嶋田繁太郎 殿

奉令上奏番号

海軍大臣 一三四号 日 二四五号

宮内省

二號野紙

裏面白紙

二號昇紙

丙發第一八二號

一 元山高等學校教授正五位小林 弘外一名

右本日特旨ヲ以テ敍位相成候條此旨及傳達候位記並  
辭令ハ追テ可及回送候也

昭和十九年七月六日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

文部大臣子爵岡部長景殿

發令工券番号

二号 小林 弘 口置 澤 清

江 共

宮内省

裏面白紙

丙 癸 第 一 二 三 號

一元農高技師正五位布谷芳太郎外二名

右本日特旨ヲ以テ敍位相成候條此旨及傳達候位記竝  
辭令ハ追テ可及回送候也

昭和十九年七月六日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

農高大臣内田信也 殿

奉令上卷番号

農秘甲方六九七号

宮内省

# 訂 正

訂正理由	撮影ミスのため
訂正箇所	直前の 4 コマ取消 4 コマ再撮影
訂正年月日	平成 22 年 8 月 25 日
このフィルムは、上記の理由で取消又は再撮影し訂正しました。 撮影者 塩崎伸一郎 (印)	
受託責任者 富士フィルム株式会社 産業機材事業部 佐々木 格 (印)	

丙發第一〇九號

一 元臺灣總督府法院檢察官徒四位眞田俊雄外二名  
右本日特旨ヲ以テ敍位相成候條此旨及傳達候位記竝  
辭令ハ追テ可及回送候也

昭和十九年七月十六日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

内務大臣安藤純三郎殿

発令上奏番号

内務大臣官房 甲字三一三号、日三〇四八号、日三〇四四号 以上

官 内 省

二號昇紙





裏面白紙

丙發第一〇號

一海軍技術少將正五位 渡邊 武外一名  
右本日特旨ヲ以テ敍位相成候條此旨及傳達候位記竝  
辭令ハ追テ可及回送候也

昭和十九年七月六日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

海軍大臣 嶋田繁太郎 殿

奉令上奏番号

海軍人字一三四号 日一四五号

官内省

二號野紙

裏面白紙

丙發第一八二號

一 元山口高等學校教授正五位小林 弘外一名

右本日特旨ヲ以テ敍位相成候條此旨及傳達候位記並  
辭令ハ追テ可及回送候也

昭和十九年七月六日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

文部大臣子爵岡部長景殿

發令士奉番号

二号 小林弘 日置澤清

江六

宮内省

二號野紙

丙 系第一二二號

一元農高技師正五位布谷芳太郎外二名  
右本日特旨ヲ以テ敍位相成候條此旨及傳達候位記竝  
辭令ハ追テ可及回送候也

昭和十九年七月六日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

農高大臣内田信也殿

奉令上登番号

農秘甲方六九七号

官 内 省

二號野紙

宮内省

奉命  
宗廟

奉命  
宗廟

宗廟

御味十月廿一日

續命ハ

本木日

一

丙

丙

二

裏面白紙

丙發第 六三號

特旨ヲ以テ位一級被進

從四位 姜 沼 三田力

敘正四位

從四位 姜 沼 三田力

右之通本日 宣下相成候條此旨及傳達候位記並  
辭令ハ追テ可及回送候也

昭和十九年七月六日

宗秩寮總裁子爵 武者小路公共

軍需大臣 東條英機 殿

宮内省

二號野紙

裏面白紙

丙發第一二四號

一元鐵道監延四位齋藤義八外二名

右本日特旨ヲ以テ敍位相成候條此旨及傳達候位記竝  
辭令ハ追テ可及回送候也

昭和十九年七月六日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

運 翰 通 信 大 臣 五 島 慶 太 殿

榮令上奏番号

秋田文一〇二〇号、田一〇二三号人 出上

宮内省

裏面白紙

丙 發給第六號

一元軍需省燃料局長正四位其父沼勇外一名

右位記竝辭令及回送候條交付方御取相有之度候也

昭和二十年四月 日

宗秩寮總裁子爵 武者小路公共

軍需大臣 吉田 茂 殿

軍需奏中四六七号ノ五九三号ノ

官 内 省



裏面白紙

丙 發第八五九號

一元鐵道監正四位藤義八外六名

右位記並辭令及回送候條交付方御取相有之度候也

昭和二十年四月七日

宗秩寮總裁子爵 武者小路公共

運輸通信大臣 前田未藏 殿

和見才一〇〇〇〇〇〇  
ク一八五〇〇〇  
ク一〇三三〇〇〇  
ク一八六〇〇〇  
ク一三四三〇〇〇  
ク一三三九〇〇〇

宮内省

丙發第八五一號

一海軍技術少將從四位渡邊武外一名

右位記竝辭令及回送候條交付方御取相有之度候也

昭和二十年四月七日

宗秩寮總裁子爵 武者小路公共

海軍大臣 米内光政 殿

海軍人オ一三四号ノ一三四五号

宮内省

丙發第八五一號

宮内省

通奉大夫 11月22日 2 11月22日

出陣入陣 米内老延題

宗拜寮懸鼓千箇 瓦香小混公共

細味二十甲 四日 日

古計諸位續命又回發刻新交付式暗取時首之更刻也  
一 海軍技師 海軍技師 海軍技師 海軍技師 海軍技師

長崎縣 八二號

丙 卷八六一